

FIM とは？

FIMとは、「機能的自立度評価法」（**F**unctional **I**ndependence **M**easure）の略語です。食べること、歩くこと、着替えること、トイレに行くことなどの日常生活動作の介助量を計測することが出来るものです。様々な ADL 評価法の中でも最も信頼性と妥当性があるといわれています。

ADL とは？

ADLとは、「日常生活動作」（**A**ctivities of **D**aily **L**iving）の略語です。前述のように食事・排泄・入浴などの日常生活を送るうえで必要な動作のことを指しています。

ADL には「基本的日常生活動作（BADL）」と「手段的日常生活動作（IADL）」の 2 種類があります。「基本的日常生活動作（以下：BADL）」は、ADL そのものを指すことが多く、動作そのものを指しています。たとえば「起き上がる」、「立ち上がる」などの独立した動作を指します。

その一方で「手段的日常生活動作（以下：IADL）」は、複数の項目を組み合わせた一連の動作を指しています。たとえば、「食事」においては BADL では食べる動作そのものを指しますが、IADL では「献立を考える」、「料理を作る」、「盛り付ける」、「食べる」、「洗い物をする」など複雑な動作を指します。

FIM で ADL を採点する

FIM の採点は「運動項目（13 項目）」と「認知項目（5 項目）」の 18 項目をそれぞれ 7 段階の評価で行います。満点が 126 点、最低点が 18 点です。点数が高いほど日常生活の自立度が高いということとなり、点数が低いほど多くの介助が必要ということがいえます。FIM は「している ADL」をそれぞれ介助量で点数化されている為、変化が確認しやすいという利点があります。また、予後の予測や急性的な増悪の評価にも活用されることがあります。当院の回復期リハビリテーション病棟でも入退院時や少なくとも 2 週に 1 回の定期的な評価を行い、リハビリの効果や状態の変化を総合的に評価しリハビリテーション計画等に活用しています。

FIM 実績指数とは？

実績指数は、リハビリテーションによってどの程度改善したかどうかの効果ををはかる 1 つの指標です。FIM の「運動項目」が退院時に入院時と比較してどれだけ改善したかを評価します。また、要したリハビリテーションの期間に対して、疾患ごとに定められた入院期間との比率も実績指数には加味されます。大まかに言うと短い期間で、ADL を改善させるほど実績指数が良くなります。当院は一番高く定められた基準を上回っています。計算式は下記のとおりです。

$$\text{実績指数} = \frac{\text{各患者の（退棟時の FIM 運動項目の得点 - 入棟時の FIM 運動項目の得点）の総和}}{\text{各患者の（入棟から退棟までの日数} \div \text{状態に応じた回復期リハビリテーションの算定上限日数）の総和}}$$